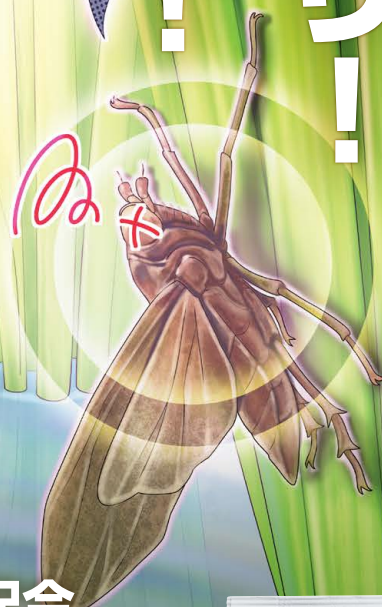




ヨーバル®UG

箱粒剤

ウンカ、ぐったり！ イネ、いきいき！



**抵抗性ウンカ類もしっかり抑制！
米づくりに安心をもたらす、信頼の3成分配合。**

- 抵抗性ウンカ類にも有効なPX POWER® (ピメトロジン)
- 初期害虫・チョウ目害虫に有効なヨーバル® (テトラニプロール)
- いもち病に有効なルーチン® (イソチアニル)

慣行播種
箱当り
50g

高密度播種
箱当り: 50~100g
(1kg/10aまで)



®ヨーバル、®ルーチンはバイエルグループの登録商標
PX POWER®はシンジェンタ社の登録商標



いもち病



ウンカ類
(トビイロウンカ)



イネミズゾウムシ



エカメイチュウ



コブノメイガ



イナゴ類
(コバネイナゴ)



製品情報はこちら

1

水稻の主要病害虫に優れた効果

- いもち病防除の定番「ルーチン®」(有効成分：イソシアニル)、新規ジアミド系殺虫剤「ヨーバル®」(有効成分：テトラニプロロール)、ウンカ類へ効果の高いピメトロジンの3有効成分からなる育苗箱専用剤です。
- 水稻の主要病害虫であるいもち病、白葉枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、ウンカ類、チョウ目害虫のニカメイチュウ、コブノメイガ、フタオビコヤガに優れた効果を発揮します。

2

優れた浸透移行性と長い残効

イソシアニル、テトラニプロロール、ピメトロジンはいずれも浸透移行性に優れ、長い残効性を有します。

3

は種時から移植当日まで使用可能

は種時覆土前から移植当日までの幅広い時期で処理が可能です。

4

高密度播種へ高い適用性

高密度播種の場合、10a当りの育苗箱枚数にあわせて育苗箱当りの使用量を50～100g/箱で処理でき、安定した防除効果が期待できます。(※ただし10a当りの処理量は最大1kg/10aです。)

適用病害虫および使用方法

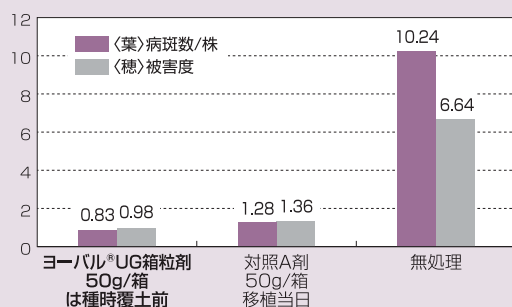
(2021年10月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病、白葉枯病 イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ フタオビコヤガ ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ イナゴ類、ウンカ類	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時(覆土前) ～移植当日	本 剤：1回 テトラニプロロール：1回 ピメトロジン：3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) イソシアニル：3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回)	育苗箱の上から 均一に散布する
		高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)			
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前～移植当日		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

試験成績**いもち病に対する効果**

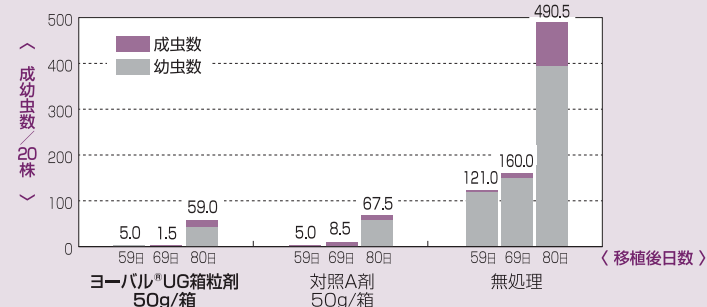
2019年 フィールド・バイオリサーチ(株) 福岡事務所



●品種：さがびより ●発生状況：中発生(葉いもち)、少発生(穂いもち) ●は種：6月3日
 ●移植：6月25日 ●出穂：9月6日
 ●調査：葉いもち9月2日(上位3葉)、穂いもち10月2日

トビイロウンカに対する効果

2019年 福岡県農林業総合試験場



●品種：ヒノヒカリ ●発生状況：多発生 ●は種：5月27日 ●移植：6月21日 ●出穂：8月26日
 ●調査：8月19日(移植59日後)、8月29日(移植69日後)、9月9日(移植80日後) 払落し法による調査

注意事項

- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本剤処理後に急激な乾燥が起こりやすい場所や温度変化が大きい場所で育苗した場合、薬害が生じるおそれがあるので、注意して下さい。
- 本剤処理後の極端な低温または高温条件下で薬害を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめて下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かき

- は丁寧に、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣など

- を着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

◎播種同時施肥機や田植同時施肥機で使用する場合は、農機販売会社に本剤の使用に関して確認をして下さい。また、散布量の調整を実施したうえで使用して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://crops.cscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078

9:00～12:00、13:00～17:00
土日祝日および会社休日を除く

(F-2135 21.10.jeki)